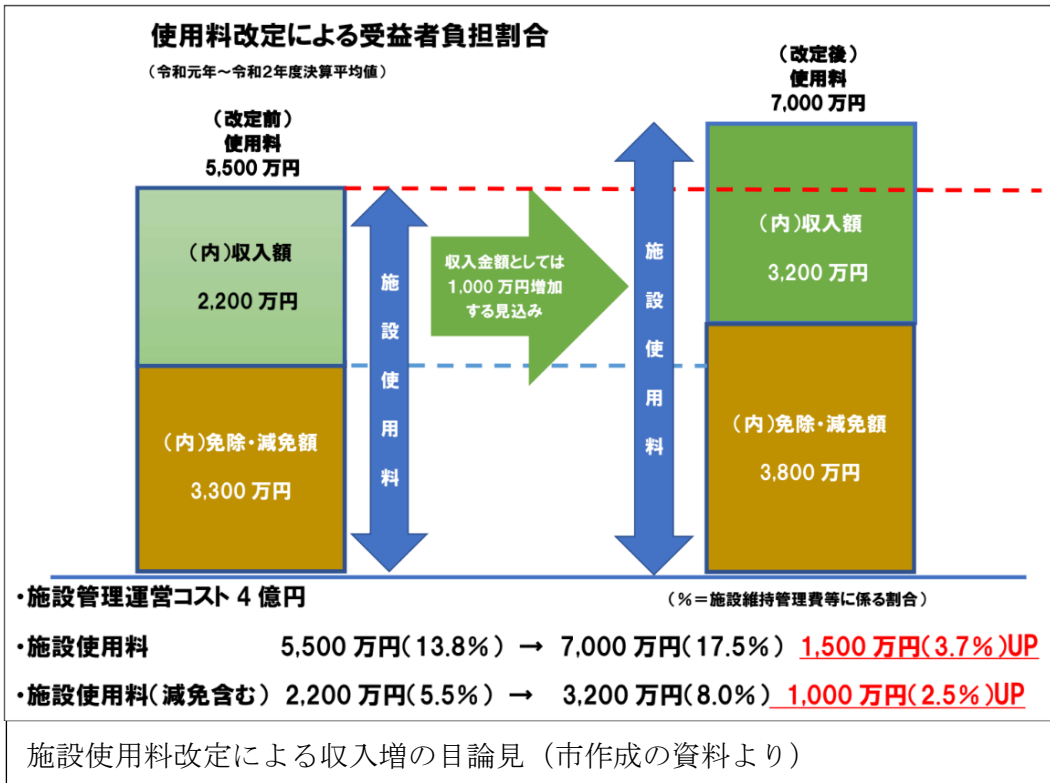


# 湖南省 公共施設使用料値上げは反対

## 公共施設の使用料改定の議案が9月議会に上程の見込み



8月18日に議員全員協議会が開催され、湖南省の運営する公共施設の使用料を値上げする方向であることが説明されました。9月議会に議案として上程される見込みです。

現在公共施設の管理運営コストの94%以上を公費で負担しており、受益者負担の原則に基づき使用料を改正するとされています。利用者には急激な負担増が生じないようにとの配慮から、1.5倍の値上げを上限としています。市外の利用者の使用料は原則2倍、文化施設、スポーツ・レクリエーション施設は原則3倍です。減免措置についても見直されます。こうした改正により、使用料収入を現行の5千5百万円から7千万円に増やそうとするものです。

### 公共施設とは

税金で運営される公共サービスというのは、市場メカニズム(つまり、自分の利益を最優先に考えた経済活動)に任せては上手く機能しないものを調整する役割があるのではないのでしょうか。

例えば、貧富の格差が挙げられます。資本主義経済というものは原理的に貧富の格差を生み出すものです。経済的に豊かな人にとっては、施設(公共、民間を問わず)の使用料を支払うことは大きな負担ではないかもしれませんが、一方で経済的に豊かでない人にとっては、僅かな金額でも負担となります。

こうした経済的な格差を是正するために、多くの収入を得ている人に多くの税を課し、収入の少ない人に公共サービスという形で還元し、経済的格差を是正する役割があるのではないのでしょうか。つまり、高額な納税者程公共サービスを利用する必然性が低く、経済的に貧しい人ほど公共サービスを利用する頻度が高くなる、この姿こそが貧富の格差は正に必要なものだから、「受益者負担」等という考えとは全く相反するものです。

このような観点から、「受益者負担」を理由とした、公共施設の統廃合や、使用料の値上げには断固反対です。

### 運営は適切か

前号の湖南省民報でもお伝えした通り、雨山キャンプ場の例のように適切に施設が運用されているのかという疑問もあります。雨山キャンプ場も今回の改正で値上げの方向が示されています。一般論として、値上げすれば利用者が減ります。ただでさえ利用者の少ない雨山キャンプ場の使用料を値上げすることが、本当に収入の増加に繋がるのかは疑問です。使用料を下げ、利用者数を増やす方法もあるはずですが、市外からの利用者を増やし、周辺地域での経済活動の活性化に繋がるのであれば、雨山キャンプ場単体の採算性に拘る必要はないと考えます。

子育て支援施設	三雲児童館
市民文化系施設	各まちづくりセンター コミュニティセンター
	文化ホール 等15施設
社会教育系施設	いしべ宿駅 じゅらくの里「木工の館」「土の館」 等4施設
保健・福祉施設	石部老人福祉センター 社会福祉センター 夏見会館 石部交流センター 等7施設
	雨山総合グラウンド 菩提寺運動広場 野洲川運動公園 雨山テニスコート 田代ヶ池テニスコート 雨山体育館 総合体育館 野洲川親水公園 長寿・常楽の理想郷 雨山野外活動施設(キャンプ場) 等16施設
スポーツ・レクリエーション施設	

使用料改定対象施設 (一部抜粋、全43施設)

## 湖南省民報

2022年8月26日(金)

No. 498号

日本共産党湖南省議員団



福祉教育  
常任委員会  
松井けい子  
0748-77-2049



産業経済  
常任委員会  
川波 忠臣

湖南省民報は「赤旗」に折りこんでいます。

090-9691-1027

050-3554-3822